

## 「情報セキュリティ 10大脅威 2018」を決定

～「偽警告」や「ビジネスメール詐欺」といった詐欺の手口が新たにランクイン～

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：富田 達夫）は、情報セキュリティにおける脅威のうち、2017年に社会的影響が大きかったトピックなどを「10大脅威選考会」の投票によりトップ10を選出し、「情報セキュリティ 10大脅威 2018」として順位を決定し、公表しました。

URL：<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2018.html>

「情報セキュリティ 10大脅威 2018」は、2017年に発生した社会的に影響が大きかったと考えられる情報セキュリティにおける事案から、IPAが脅威候補を選出し、情報セキュリティ分野の研究者、企業の実務担当者など約100名のメンバーからなる「10大脅威選考会」が脅威候補に対して審議・投票を行い、決定したものです。<sup>(\*)</sup> 2018年も昨年同様に「個人」と「組織」という異なる立場で10大脅威を選出しています。

### ■「情報セキュリティ 10大脅威 2018」

**NEW**：初めてランクインした脅威

昨年 順位	「個人」の10大脅威	順位	「組織」の10大脅威	昨年 順位
1位	インターネットバンキングや クレジットカード情報の不正利用	1位	標的型攻撃による情報流出	1位
2位	ランサムウェアによる被害	2位	ランサムウェアによる被害	2位
7位	ネット上の誹謗・中傷	3位	ビジネスメール詐欺 <b>NEW</b>	ランク 外
3位	スマートフォンやスマートフォン アプリを狙った攻撃の可能性	4位	脆弱性対策情報の公開に伴い 公知となる脆弱性の悪用増加	ランク 外
4位	ウェブサービスへの不正ログイン	5位	セキュリティ人材の不足 <b>NEW</b>	ランク 外
6位	ウェブサービスからの個人情報の窃取	6位	ウェブサービスからの個人情報の窃取	3位
8位	情報モラル欠如に伴う犯罪の低年齢化	7位	IoT機器の脆弱性の顕在化	8位
5位	ワンクリック請求等の不当請求	8位	内部不正による情報漏えい	5位
10位	IoT機器の不適切な管理	9位	サービス妨害攻撃による サービスの停止	4位
ランク 外	偽警告 <b>NEW</b>	10位	犯罪のビジネス化 (アンダーグラウンドサービス)	9位

<sup>(\*)</sup> 予めIPAが23の脅威候補を選定し、「10大脅威選考会」の投票により、個人ランキング、組織ランキングとして10大脅威を選出。

今年は「個人」と「組織」を合わせた 20 の脅威の内、8 割の 16 の脅威が昨年引き続きランクインしました。このように大半の脅威は急に出現したのではなく、また新しい手口でもありません。よって手口を知り、常に対策を怠らないことが重要です。

一方、今年のランキングにはこれまでの 10 大脅威に一度もランクインしたことの無い新たな脅威が入りました。「個人の 10 位」の「偽警告」、「組織の 3 位」の「ビジネスメール詐欺」、「同 5 位」の「セキュリティ人材の不足」です。なお、「同 4 位」の「脆弱性対策情報の公開に伴い公知となる脆弱性の悪用増加」は昨年のランク外（一昨年は 6 位）から復活ランクインしたものです。

「偽警告」は、PC の画面に突然“ウイルスに感染した”と表示され、サポート窓口で電話するように仕向ける手口<sup>(2)</sup>です。IT に詳しくない PC 利用者が騙されやすいのが特徴です。

また、「ビジネスメール詐欺」は、巧妙に細工したメールによるやりとりが実際に行われ、その結果企業の担当者が騙され、本来の振込口座とは異なる攻撃者の偽口座へ送金させる詐欺の手口<sup>(3)</sup>です。昨年末に国内の大手企業の被害が大きく報道され、世間の耳目を集めました。この詐欺は、手口さえ知っていれば、騙される前に気づける可能性がありました。

「セキュリティ人材の不足」は、以前から指摘されていた問題です。他の脅威とはやや観点が異なりますが、組織として取り組むべき課題の 1 つです。人材育成には時間がかかるため、数年先を見据えて計画的に進める必要があります。

昨年、初めてランクインした IoT に関する脅威は今年も「個人」と「組織」共にランクインしました。IoT はその利便性のみが注目されがちですが、Mirai<sup>(4)</sup>を初めとしたウイルスがネットワークカメラなどの IoT 機器を狙ったように、既に攻撃対象の 1 つになっているという認識を持ち、必要な対策を施した上で安全に利用してください。

IPA では、3 月下旬にこの「情報セキュリティ 10 大脅威 2018」の詳しい解説をウェブサイトで公開する予定です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

IPA 技術本部 セキュリティセンター 土屋／亀山

Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7552 E-mail: vuln-inq@ipa.go.jp

■ 報道関係からのお問い合わせ先

IPA 戦略企画部 広報グループ 白石

Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp

<sup>(2)</sup> その警告メッセージ、信じて大丈夫？ -ブラウザの"偽警告"にご用心！-

<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/videos/20170403-1.html>

<sup>(3)</sup> 【注意喚起】偽口座への送金を促す“ビジネスメール詐欺”の手口

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/20170403-bec.html>

<sup>(4)</sup> ネットワークカメラや家庭用ルーター等の IoT 機器に感染するウイルスの一種。Mirai に感染した多数の IoT 機器からターゲットとなったサーバーへ大規模な攻撃を仕掛けることでサーバーを過負荷状態にしてサービス提供を妨害する。